



アンケート調査結果—青森県

NPO法人原子力資料情報室

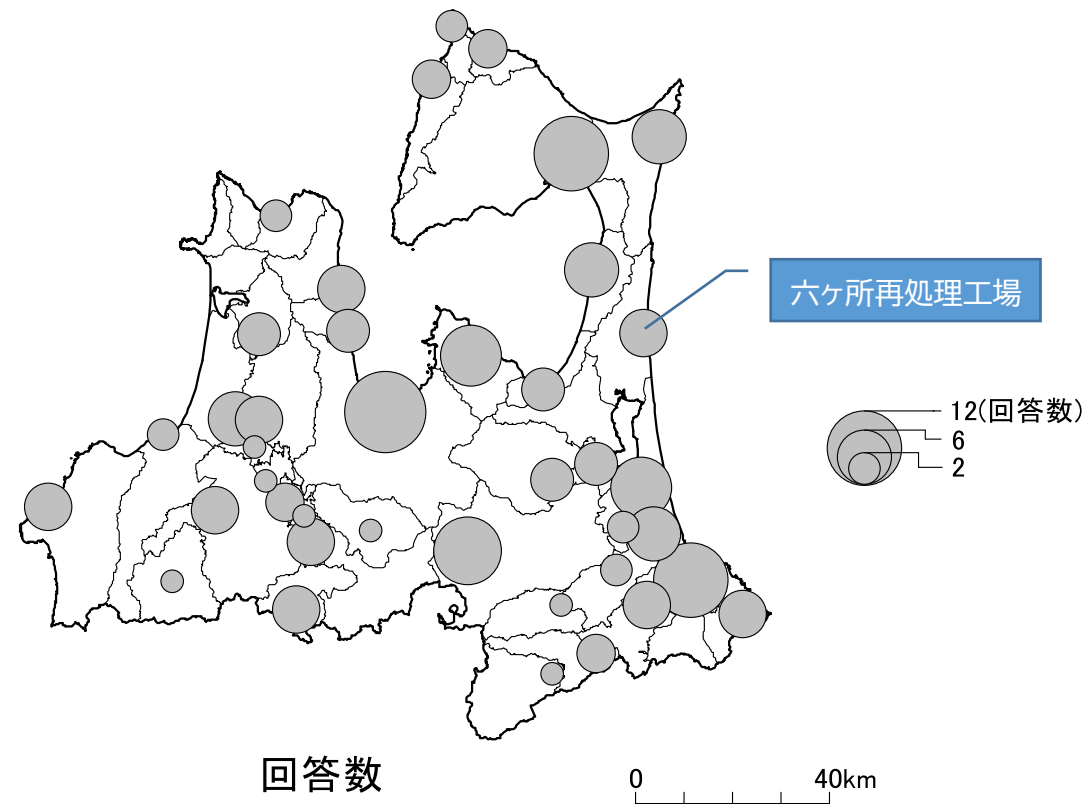
- 青森県内の県議会・市町村議会議員、各種団体を対象にアンケート調査を実施
- 期間： 2020年9月1日～2020年10月31日まで
- 送付数：1166通、回答数209件

回答者の構成

回答数: 204

1公務員	32
2会社員	39
3自営業／自由業	44
4パート・アルバイト	0
5主婦	3
6無職	5
7その他	83
回答なし	5

1農業	32
2林業	4
3水産業	23
4鉱業	0
5建設業	6
6製造業	1
7電気・ガス・水道業	1
8情報通信業	2
9運輸業郵便業	4
10卸売業、小売業	11
11金融業、保険業	2
12不動産業	0
13飲食業	0
14宿泊業	0
15医療・福祉	4
16教育、学習支援業	1
17その他サービス業	30
18公務	51
19該当なし	31
回答なし	9



1-1. 六ヶ所再処理工場の存在についてご存知でしょうか

1	知っていて、どのような施設かも理解している	159
2	知っているが、どのような施設かは十分に理解していない	48
3	知らない	0
	計	207

記載のあった回答の内、六ヶ所再処理工場について知らない、との回答はない。また、76%は施設について理解していると回答

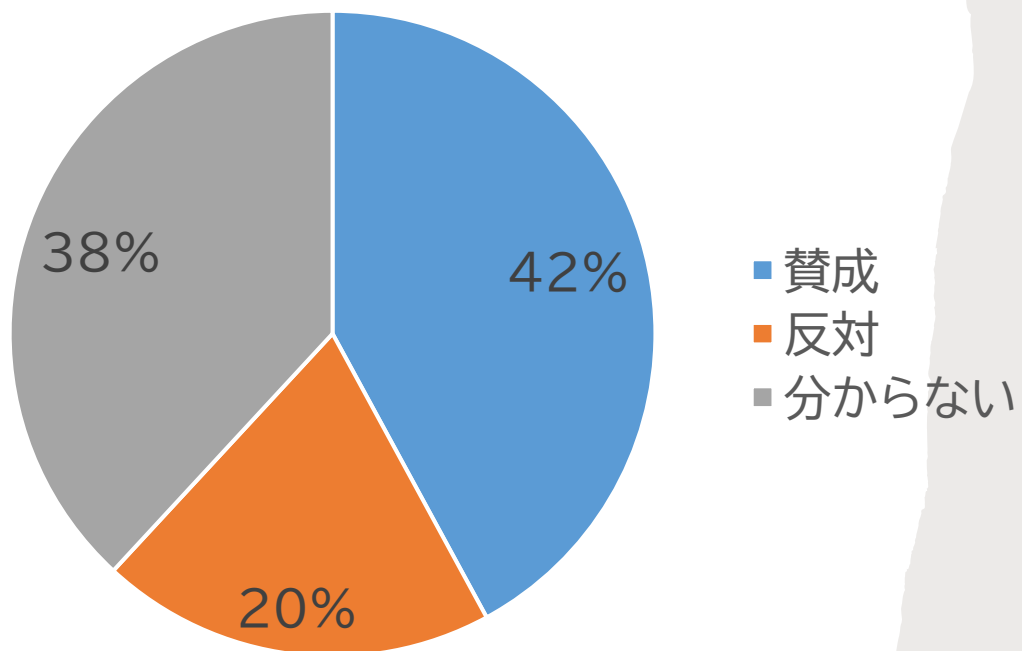
1-2. 1993(平成5)年から建設が続けられてきた六ヶ所再処理工場が、2021(令和3)年度に完成、本格稼働という計画になっていることをご存じですか。

1	はい	172
2	いいえ	33
	計	205

六ヶ所村回答
2022年上期の竣工として事業者から説明を受けた

記載のあった回答の内、84%が、稼働時期について知っていると回答。

※なお、アンケート開始時期の都合で稼働時期は2021年度との質問になった(現在は2022年度予定)。



- 1-3. 六ヶ所再処理工場の2021年度稼働という計画についてはどのようにお考えでしょうか。

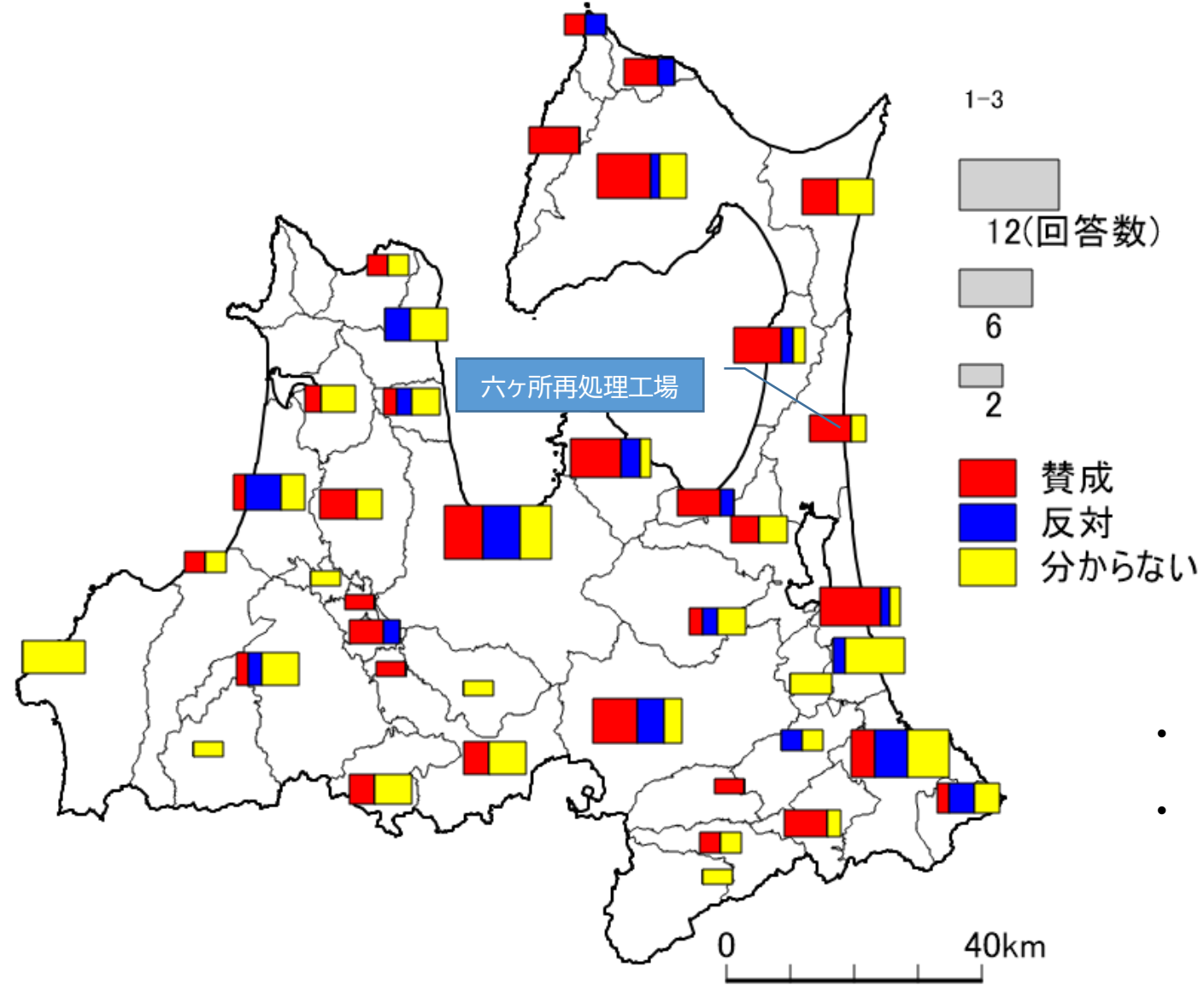
1	賛成	85
2	反対	40
3	分からない	77
	計	202

記載のあった回答の内、42%が、稼働に賛成、20%が反対。ただし、わからないとの回答が38%に上る。

※なお、アンケート開始時期の都合で稼働時期は2021年度との質問になった(現在は2022年度予定)。

六ヶ所村回答
再処理工場を進めるにあたっては、村民の安全・安心の確保が大前提である。

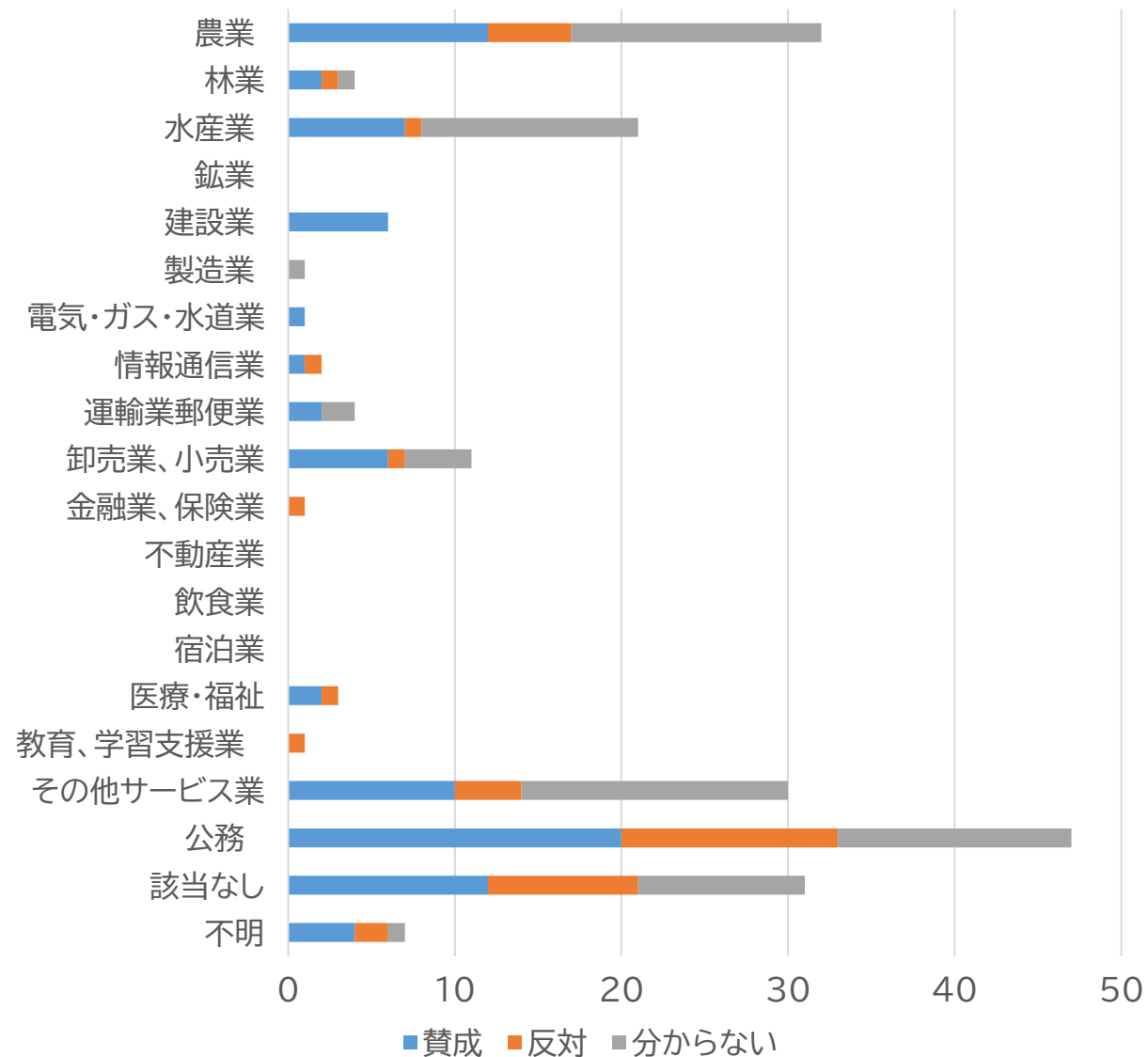
1-3. 六ヶ所再処理工場の2021年度稼働という計画についてはどのようにお考えでしょうか。



- 青森県
賛成：1
- 市町村の記載のなかった回答
賛成：9
反対：7
分からない：9

六ヶ所再処理工場の2021年度稼働という計画についてはどのようにお考えでしょうか。

	賛成	反対	分からない
1 農業	12	5	15
2 林業	2	1	1
3 水産業	7	1	13
4 鉱業			
5 建設業	6		
6 製造業			1
7 電気・ガス・水道業	1		
8 情報通信業	1	1	
9 運輸業郵便業	2		2
10 卸売業、小売業	6	1	4
11 金融業、保険業		1	
12 不動産業			
13 飲食業			
14 宿泊業			
15 医療・福祉	2	1	
16 教育、学習支援業		1	
17 その他サービス業	10	4	16
18 公務	20	13	14
19 該当なし	12	9	10
不明	4	2	1
南部地方 第一次産業従事者	8	10	42



南部地方の第一次産業従事者は多くが六ヶ所再処理工場の稼働の是非について分からないと回答

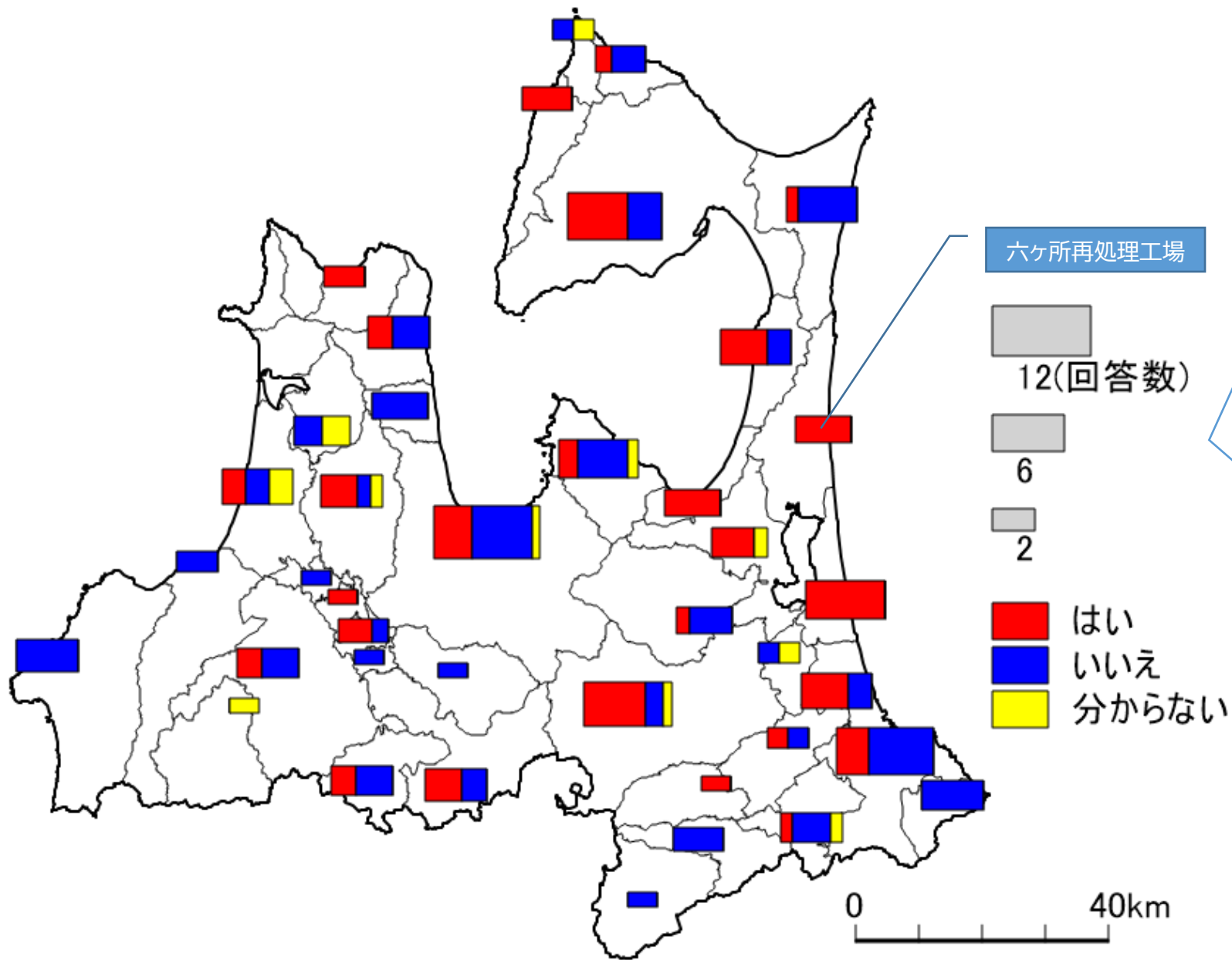
1-4. これまで、六ヶ所再処理工場の概要について説明を受けたことはありますか。

1	はい	90
2	いいえ	101
3	分からない	15
	計	206

六ヶ所村回答
立地村として各機関から説明を受けている

青森県内でも六ヶ所再処理工場について説明を受けたことのないとの回答が半数以上。

1-4. これまで、六ヶ所再処理工場の概要について説明を受けたことはありますか。



市町村の記載があった回答を分析すると、六ヶ所村・三沢市にかんしては、全て説明を受けたとの回答だったが、六ヶ所再処理工場に近い南部地方でも、説明を受けたことのないとの回答が多くみられる。

(1-4(これまで、六ヶ所再処理工場の概要について説明を受けたことはありませんか)で1(はい)を選ばれた方にお聞きします)

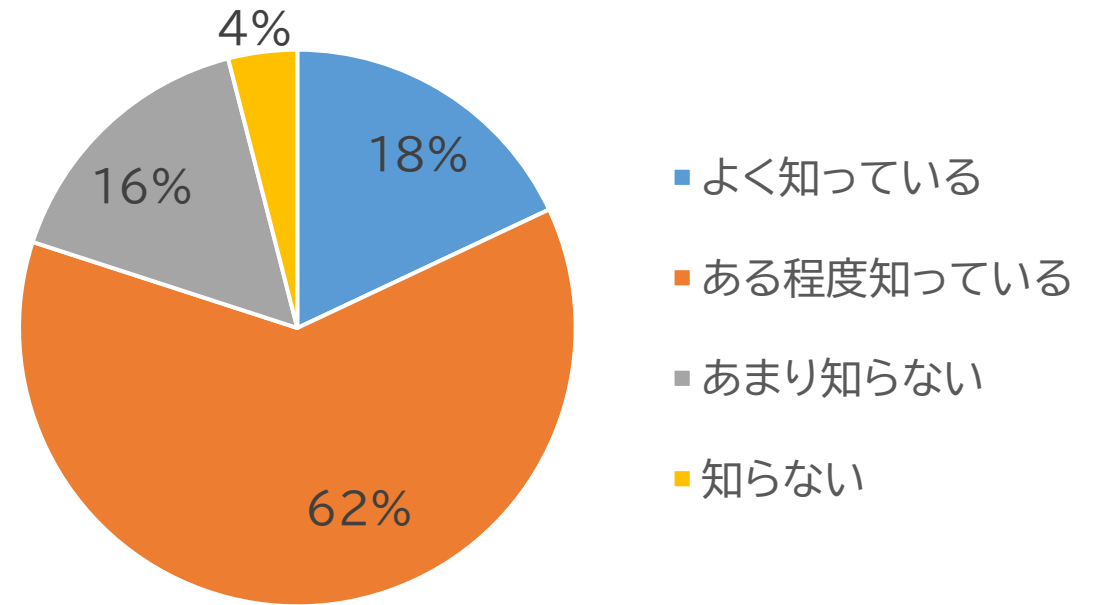
1-5. 六ヶ所再処理工場についてだれから説明を受けたかをお答えください。(複数選択可)

1	政府	3
2	日本原燃	78
3	電力会社	13
4	その他	20

六ヶ所村回答
立地村として各機関から説明を受けている

2-1. 福島第一原発で貯蔵中の放射性トリチウムを含む汚染水の処理方法が、風評被害も含め、問題になっています。国はこの汚染水の処理方法について審議会などで7年以上に亘って議論し、公聴会なども開催してきました。一方、全国漁業協同組合連合会は、「処理水の海洋放出は、我が国漁業の将来にとって壊滅的な影響を与えかねない重大な問題である」として、「福島第一原子力発電所事故に伴う汚染水の海洋放出に断固反対する特別決議」を採択しています。福島第一原発に関するこのような事実をご存知ですか

1	よく知っている	36
2	ある程度知っている	124
3	あまり知らない	32
4	知らない	8
	合計	200

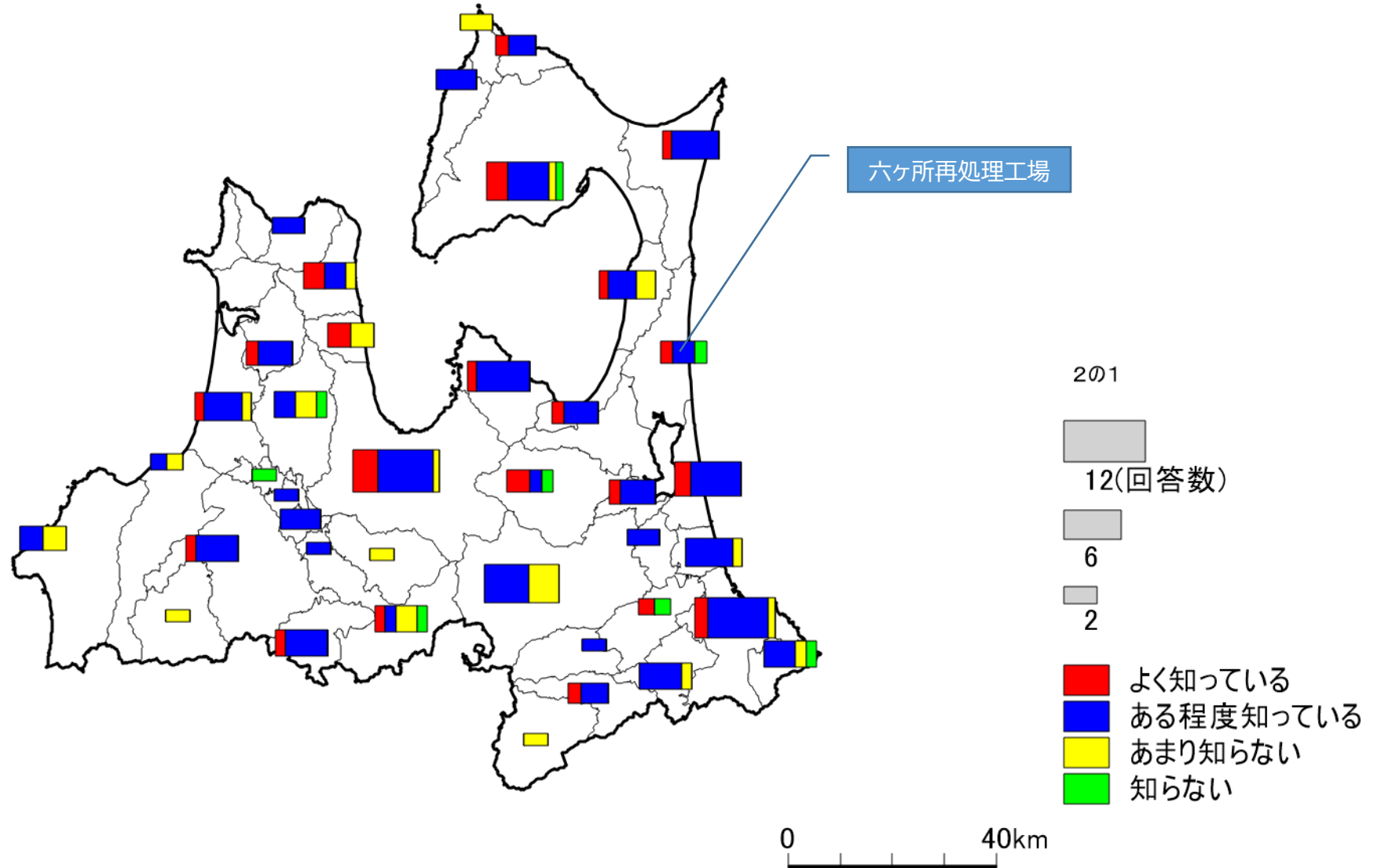


福島第一原発の汚染水をめぐる状況については回答数中80%がよく知っている、またはある程度知っていると回答。

・ 六ヶ所村回答

六ヶ所再処理工場からの放射性物質の放出により施設周辺で受ける放射線量は農畜産物、海産物への影響も含めて年間約0.022ミリシーベルトと評価されており、法令で定められている公衆の線量限度(年間1ミリシーベルト)を大幅に下回っていることが、国の安全審査においても確認されている。

2-1. 福島第一原発で貯蔵中の放射性トリチウムを含む汚染水の処理方法が、風評被害も含め、問題になっています。国はこの汚染水の処理方法について審議会などで7年以上に亘って議論し、公聴会なども開催してきました。一方、全国漁業協同組合連合会は、「処理水の海洋放出は、我が国漁業の将来にとって壊滅的な影響を与えかねない重大な問題である」として、「福島第一原子力発電所事故に伴う汚染水の海洋放出に断固反対する特別決議」を採択しています。福島第一原発に関するこのような事実をご存知ですか

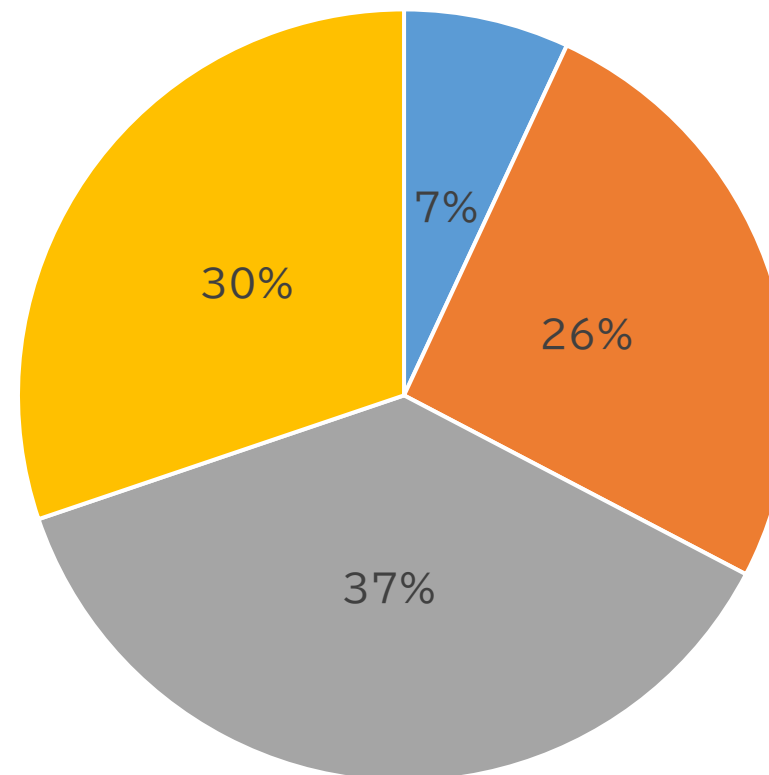


2-1. 福島第一原発で貯蔵中の放射性トリチウムを含む汚染水の処理方法が、風評被害も含め、問題になっています。国はこの汚染水の処理方法について審議会などで7年以上に亘って議論し、公聴会なども開催してきました。一方、全国漁業協同組合連合会は、「処理水の海洋放出は、我が国漁業の将来にとって壊滅的な影響を与えかねない重大な問題である」として、「福島第一原子力発電所事故に伴う汚染水の海洋放出に断固反対する特別決議」を採択しています。福島第一原発に関するこのような事実をご存知ですか

		よく知っている	ある程度知っている	あまり知らない	知らない
1	農業	4	21	5	2
2	林業		3		1
3	水産業	5	13	3	1
4	鉱業				
5	建設業	1	4		1
6	製造業				
7	電気・ガス・水道業	1			
8	情報通信業	1		1	
9	運輸業郵便業		4		
10	卸売業、小売業		8	3	
11	金融業、保険業		1		
12	不動産業				
13	飲食業				
14	宿泊業				
15	医療・福祉	1	3		
16	教育、学習支援業	1			
17	その他サービス業	3	16	9	1
18	公務	11	25	8	1
19	該当なし	5	22	3	1
	不明	3	4		

2-2. 日本原燃の「管理目標」によれば、六ヶ所再処理工場の通常運転が開始されると、最大で、福島第一原発で貯蔵されている量の10倍のトリチウムを、毎年、海洋放出することになっています。このことをご存知ですか。

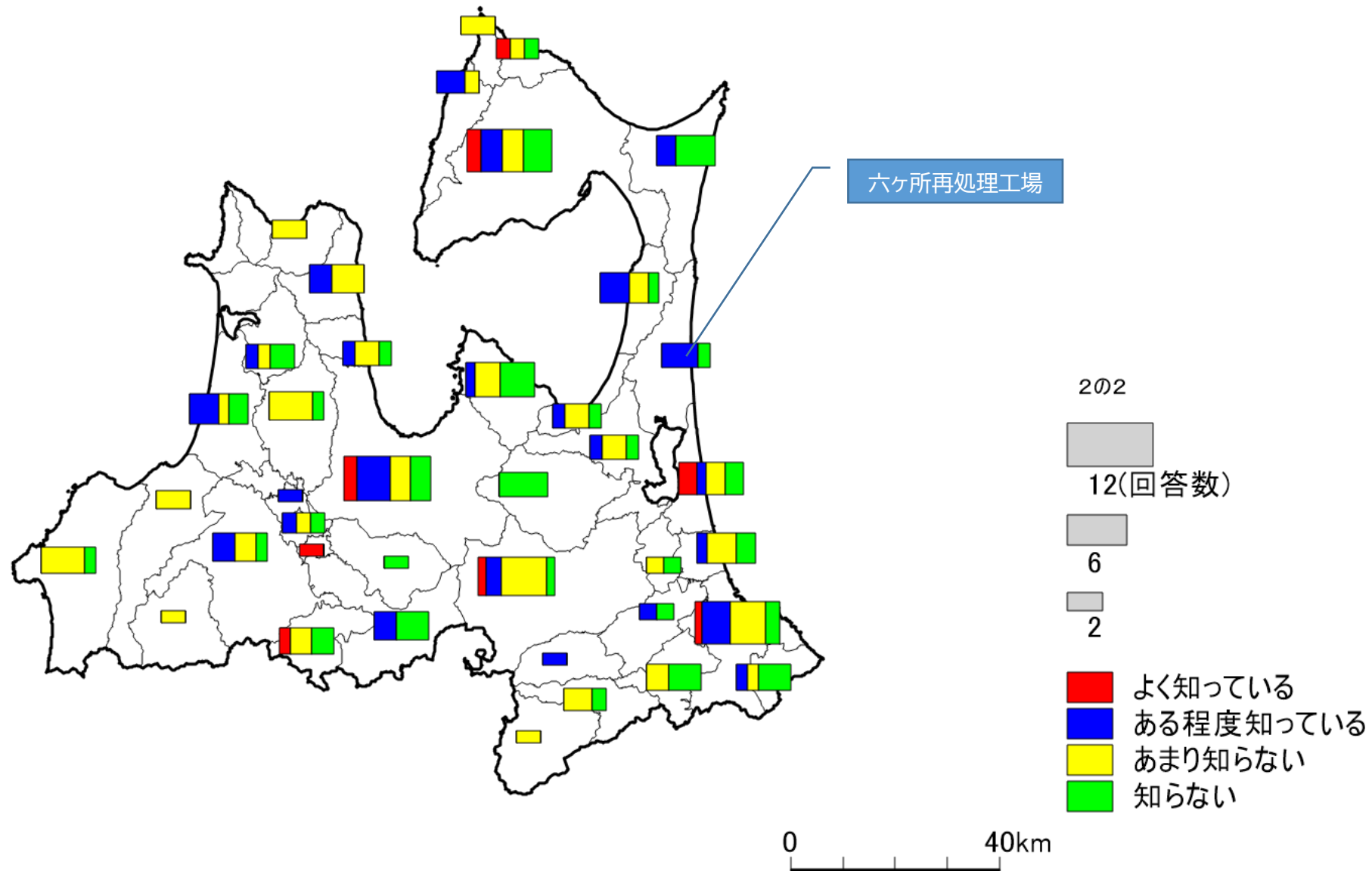
1	よく知っている	14
2	ある程度知っている	52
3	あまり知らない	75
4	知らない	61
	合計	202



■ よく知っている ■ ある程度知っている
■ あまり知らない ■ 知らない

回答中67%が知らないか、あまり知らない、と回答

2-2. 日本原燃の「管理目標」によれば、六ヶ所再処理工場の通常運転が開始されると、最大で、福島第一原発で貯蔵されている量の10倍のトリチウムを、毎年、海洋放出することになっています。このことをご存知ですか。



2-2. 日本原燃の「管理目標」によれば、六ヶ所再処理工場の通常運転が開始されると、最大で、福島第一原発で貯蔵されている量の10倍のトリチウムを、毎年、海洋放出することになっています。このことをご存知ですか。	1-3. 六ヶ所再処理工場の2021年度稼働という計画についてはどのようにお考えでしょうか。			
	賛成	反対	分からない	総計
よく知っている	7	7		14
ある程度知っている	27	17	8	52
あまり知らない	32	8	34	74
知らない	18	8	31	57
無回答	1		3	4

六ヶ所再処理工場からのトリチウム放出量について、よく知っている層は、稼働への賛否が拮抗、ある程度知っている層は賛成が反対を上回っているが、賛否が判断できない層が増加、あまり知らない、または知らない層ではさらに増加している。

第一次産業従事者(農林水産業)の回答を抽出

2-2. 日本原燃の「管理目標」によれば、六ヶ所再処理工場の通常運転が開始されると、最大で、福島第一原発で貯蔵されている量の10倍のトリチウムを、毎年、海洋放出することになっています。このことをご存知ですか。	1-3. 六ヶ所再処理工場の2021年度稼働という計画についてはどのようにお考えでしょうか。			
	賛成	反対	分からない	総計
よく知っている	2			2
ある程度知っている	7	6	12	25
あまり知らない	8	6	30	44
知らない	4	2	39	45
無回答			6	6

第一次産業従事者に限ると、放出についてあまり知らない・知らない層の多くは稼働について分からないと回答

2-2. 日本原燃の「管理目標」によれば、六ヶ所再処理工場の通常運転が開始されると、最大で、福島第一原発で貯蔵されている量の10倍のトリチウムを、毎年、海洋放出することになっています。このことをご存知ですか。

		よく知っている	ある程度知っている	あまり知らない	知らない
1	農業	1	8	13	8
2	林業			1	3
3	水産業	1	6	7	9
4	鉱業				
5	建設業		3	1	2
6	製造業			1	
7	電気・ガス・水道業		1		
8	情報通信業	1		1	
9	運輸業郵便業		1	3	
10	卸売業、小売業		2	5	4
11	金融業、保険業		1		
12	不動産業				
13	飲食業				
14	宿泊業				
15	医療・福祉			2	2
16	教育、学習支援業				1
17	その他サービス業	1	7	14	8
18	公務	7	13	14	12
19	該当なし	2	8	12	8
	不明	1	2	1	4

(2-1(福島第一原発のトリチウム水)
または 2-2(六ヶ所再処理工場から
のトリチウム放出) で 1(よく知っ
ている)~2(ある程度知っている)
を選ばれた方にお聞きします)

2-3. どこから情報を得ま
したか。(複数選択可)

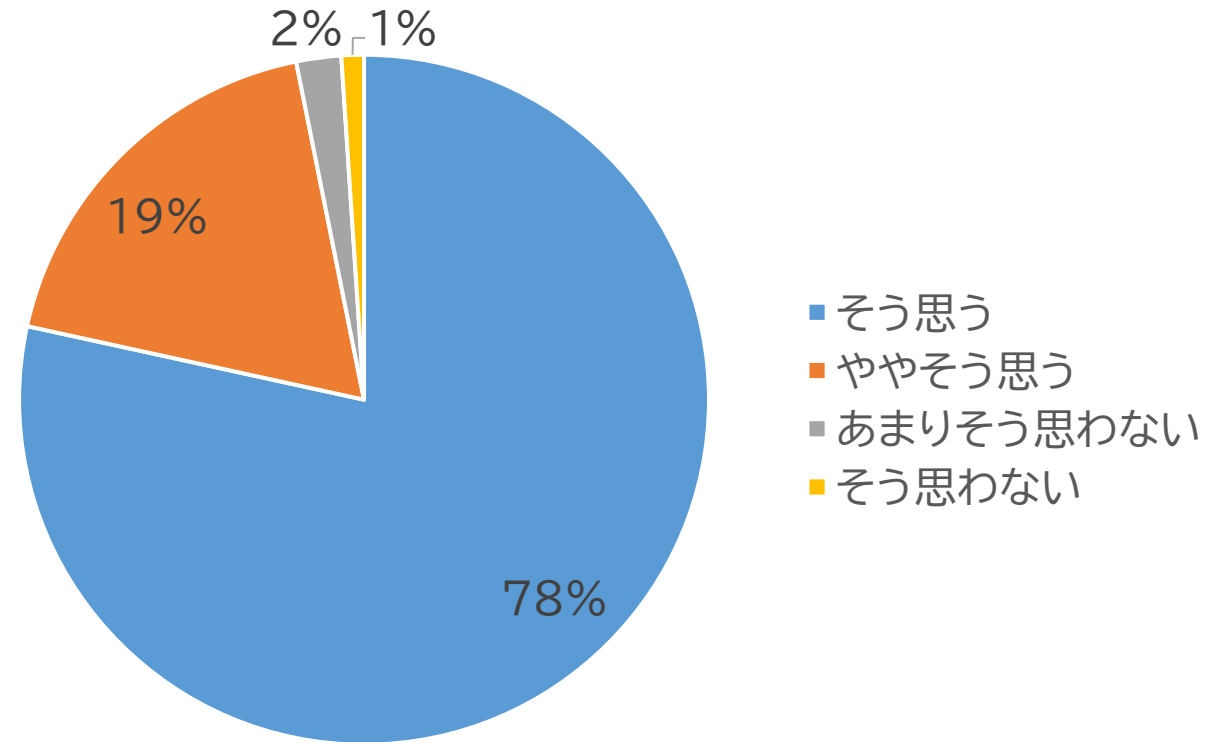
1	政府	5
2	日本原燃	31
3	電力会社	9
4	マスコミ	56
5	その他	15

2-4. 六ヶ所再処理工場の沖合3kmにある排水口付近からはがきを1万枚放流して、海流調査を実施したところ、北は北海道苫小牧、南は房総半島先端の千葉県千倉町まで到達していました。このことをご存知ですか。

1	知っていた	12
2	知らなかった	178

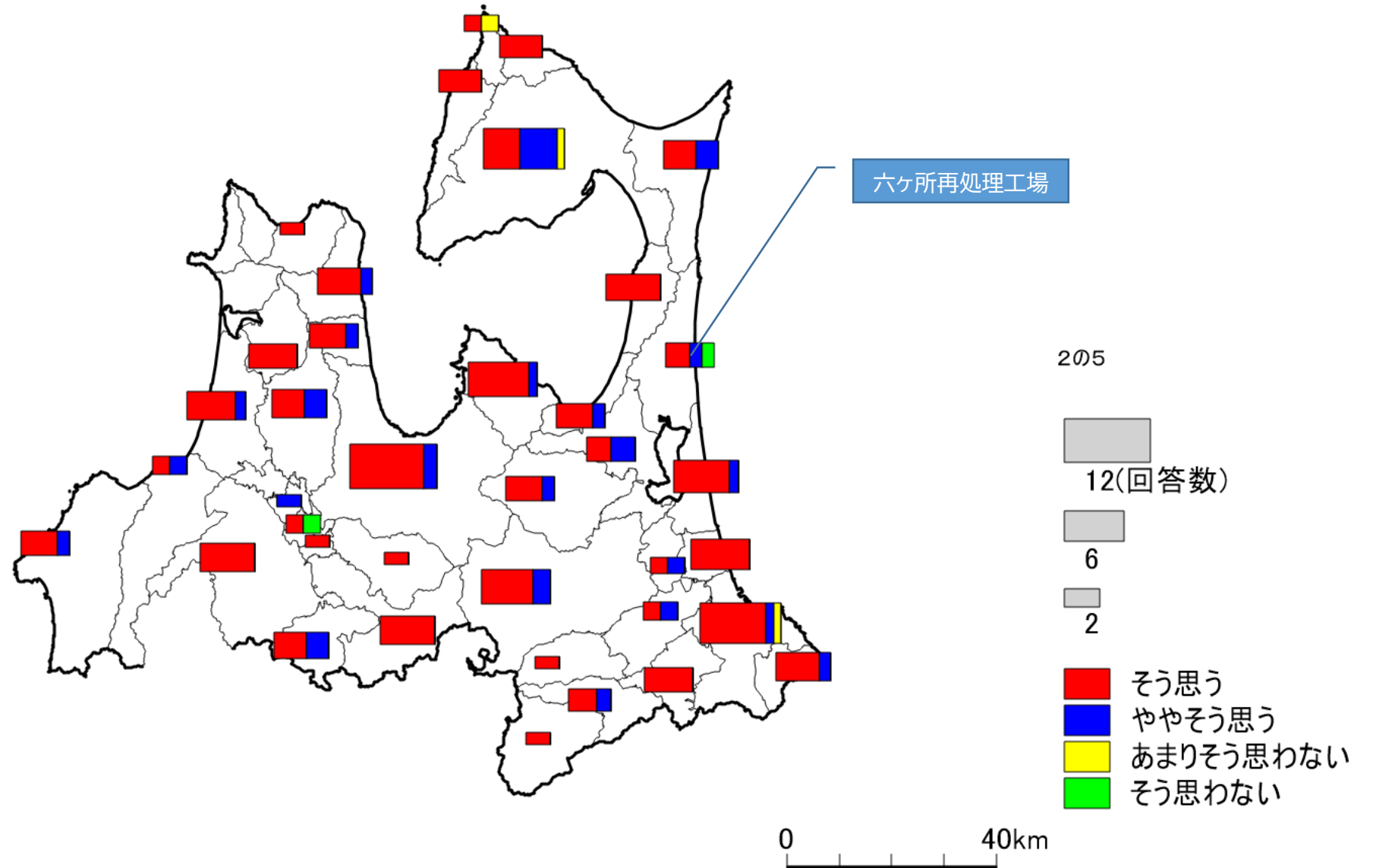
2-5. 六ヶ所再処理工場からのトリチウム放出に関する事実について、政府は詳しく説明しておくべきだったと思いますか。

1	そう思う	149
2	ややそう思う	35
3	あまりそう思わない	4
4	そう思わない	2
	合計	190



回答中97%が政府は説明すべきだったとの回答。

2-5. 六ヶ所再処理工場からのトリチウム放出に関する事実について、政府は詳しく説明しておくべきだったと思いますか。

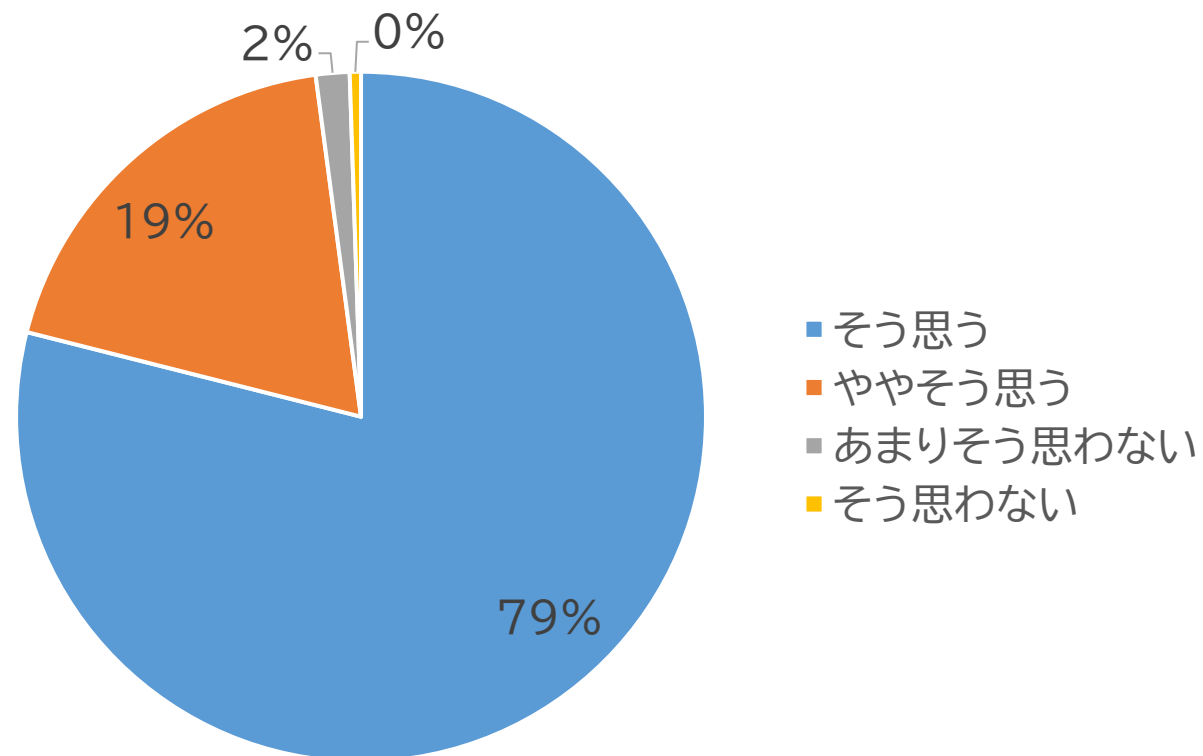


2-5. 六ヶ所再処理工場からのトリチウム放出に関する事実について、政府は詳しく説明しておくべきだったと思いますか。

		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
1	農業	26	4		
2	林業	1	2		
3	水産業	15	8		
4	鉱業				
5	建設業	5			1
6	製造業	1			
7	電気・ガス・水道業	1			
8	情報通信業	2			
9	運輸業郵便業	3	1		
10	卸売業、小売業	7	3		
11	金融業、保険業	1			
12	不動産業				
13	飲食業				
14	宿泊業				
15	医療・福祉	3	1		
16	教育、学習支援業	1			
17	その他サービス業	16	5	1	1
18	公務	38	3	2	
19	該当なし	22	7	1	
	不明	7	1		

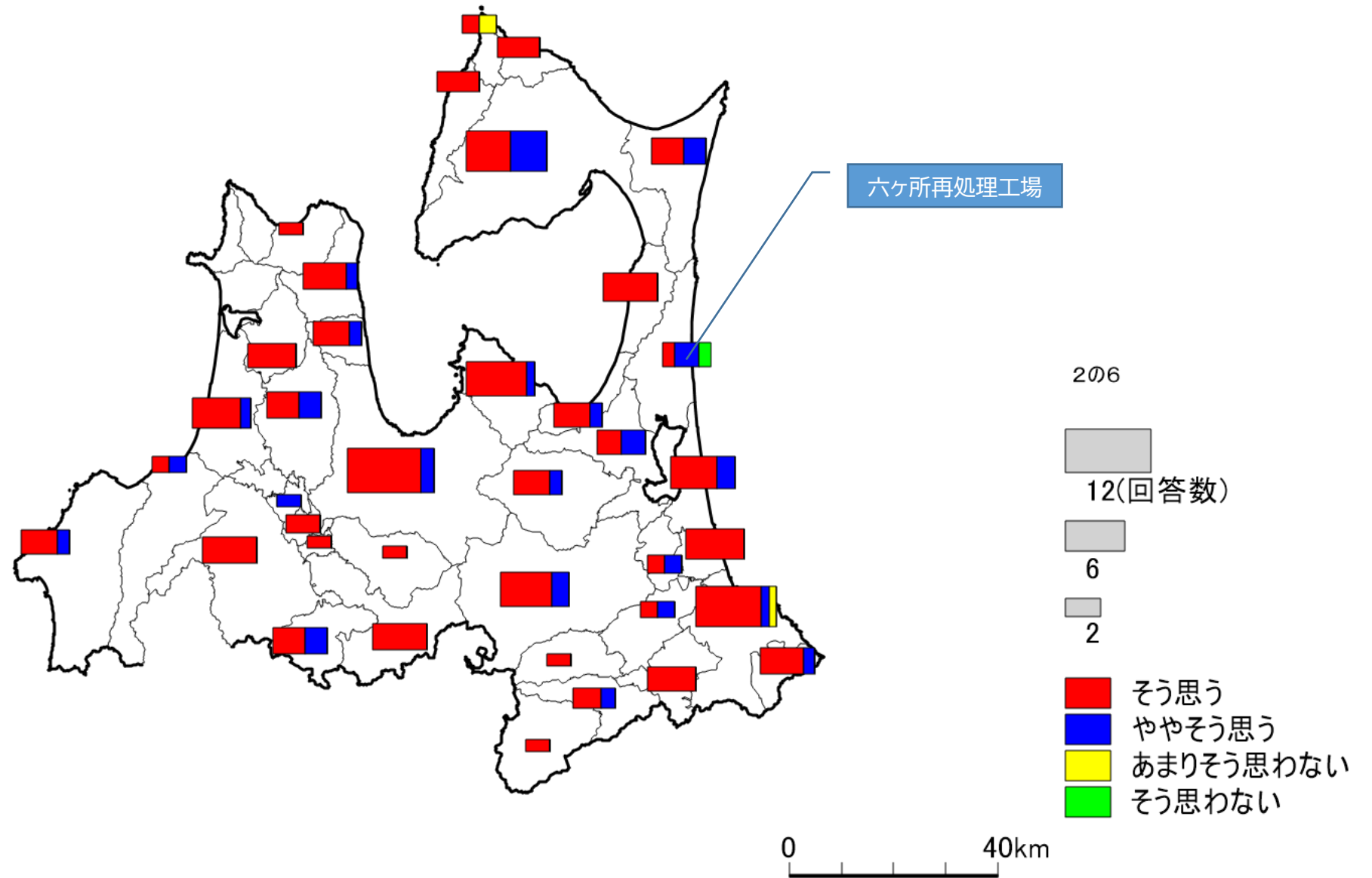
2-6. 六ヶ所再処理工場からのトリチウム放出に関する事実について、事業者の日本原燃は詳しく説明しておくべきだったと思いますか。

1	そう思う	150
2	ややそう思う	36
3	あまりそう思わない	3
4	そう思わない	1



回答中97%が日本原燃は説明すべきだったとの回答。

2-6. 六ヶ所再処理工場からのトリチウム放出に関する事実について、事業者の日本原燃は詳しく説明しておくべきだったと思いますか。

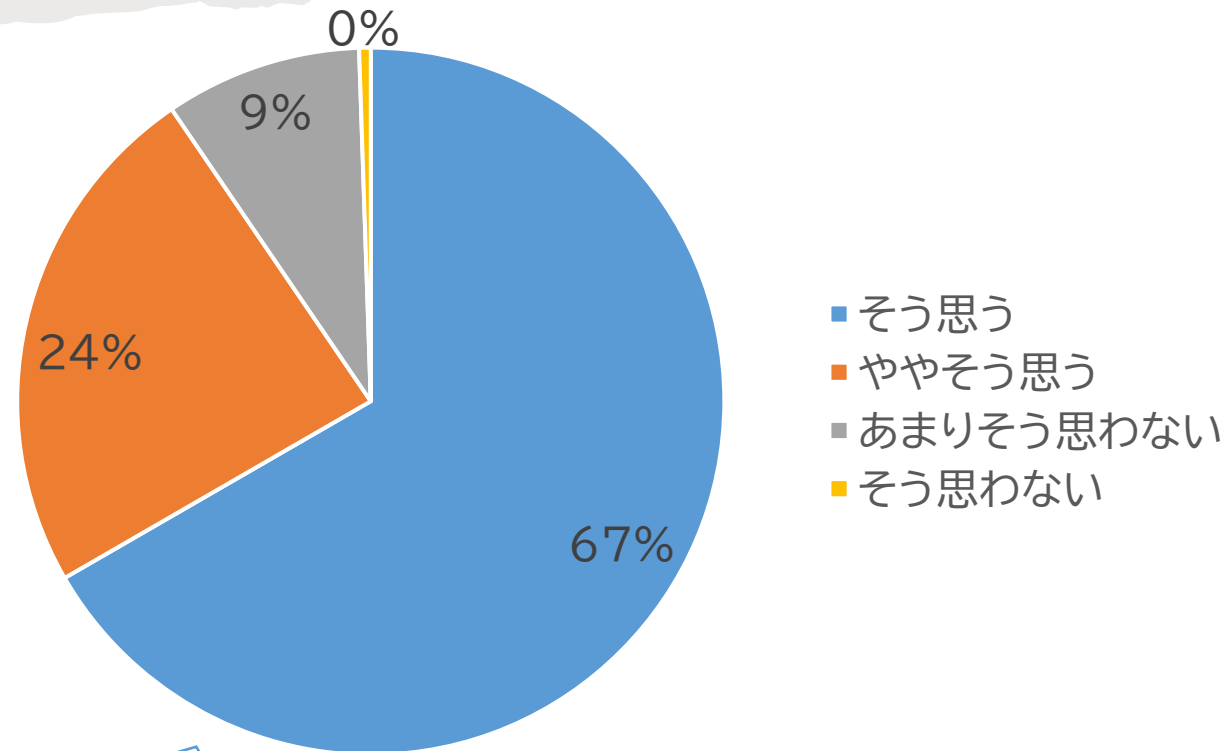


2-6. 六ヶ所再処理工場からのトリチウム放出に関する事実について、事業者の日本原燃は詳しく説明しておくべきだったと思いますか。

		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
1	農業	26	4		
2	林業	1	2		
3	水産業	15	8		
4	鉱業				
5	建設業	4	1		1
6	製造業	1			
7	電気・ガス・水道業	1			
8	情報通信業	2			
9	運輸業郵便業	3	1		
10	卸売業、小売業	7	3		
11	金融業、保険業	1			
12	不動産業				
13	飲食業				
14	宿泊業				
15	医療・福祉	3	1		
16	教育、学習支援業	1			
17	その他サービス業	18	5		
18	公務	38	3	2	
19	該当なし	21	8	1	
	不明	8			

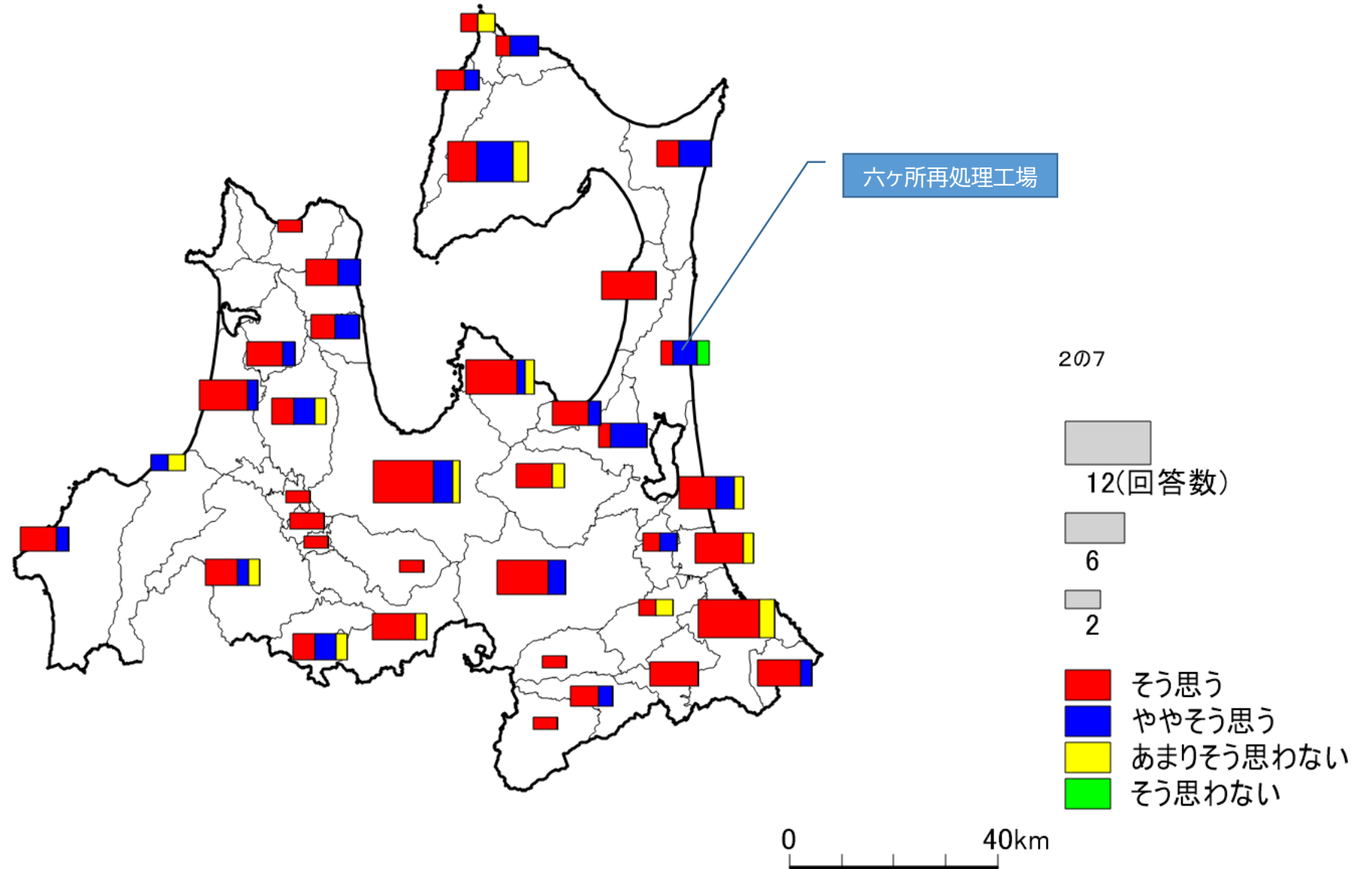
2-7. 今後、六ヶ所再処理工場からのトリチウムなどの放射性物質の海洋・大気中放出について、政府は福島汚染水放出について開かれてきたような、審議会、公聴会などを開くべきだと思いますか。

1	そう思う	126
2	ややそう思う	45
3	あまりそう思わない	17
4	そう思わない	1
	合計	189



回答中91%が審議会・公聴会が開かれるべきと回答。

2-7. 今後、六ヶ所再処理工場からのトリチウムなどの放射性物質の海洋・大気中放出について、政府は福島
の汚染水放出について開かれてきたような、審議会、公聴会などを開くべきだと思いますか。



2-7. 今後、六ヶ所再処理工場からのトリチウムなどの放射性物質の海洋・大気中放出について、政府は福島汚染水放出について開かれてきたような、審議会、公聴会などを開くべきだと思いますか。

		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
1	農業	25	5		
2	林業	1	1	1	
3	水産業	12	11		
4	鉱業				
5	建設業	3	1	1	1
6	製造業	1			
7	電気・ガス・水道業	1			
8	情報通信業	2			
9	運輸業郵便業	3		1	
10	卸売業、小売業	5	2	3	
11	金融業、保険業	1			
12	不動産業				
13	飲食業				
14	宿泊業				
15	医療・福祉	3	1		
16	教育、学習支援業	1			
17	その他サービス業	12	9	2	
18	公務	32	5	5	
19	該当なし	18	8	4	
	不明	6	2		

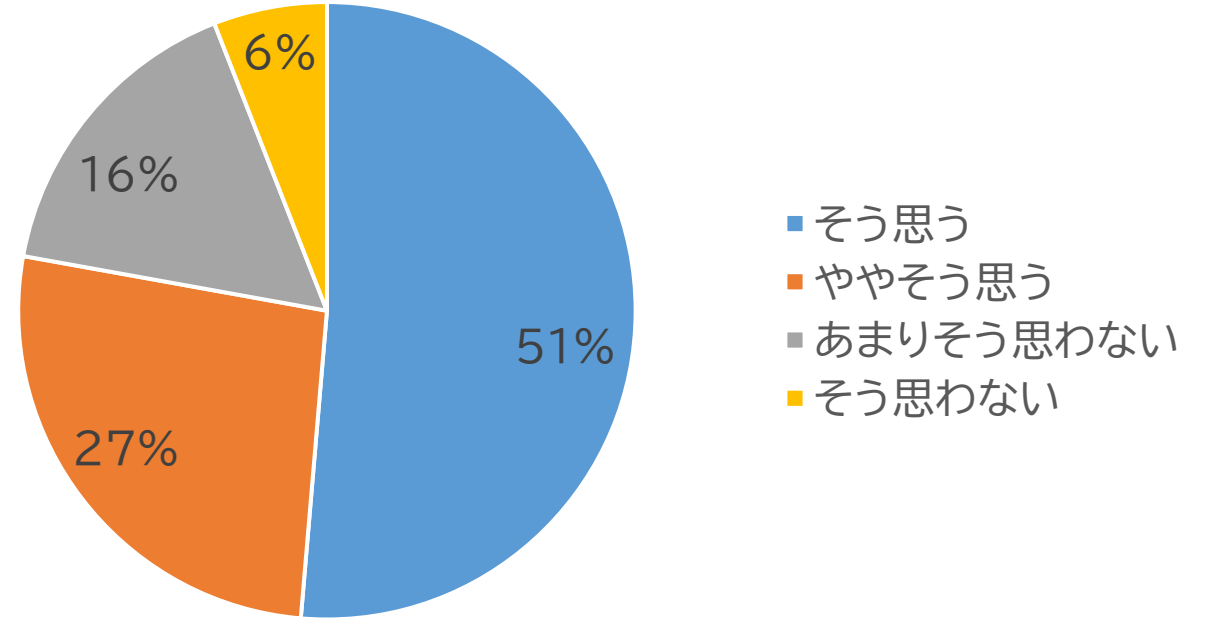
1-3. 六ヶ所再処理工場の
2021年度稼働という計画につ
いてはどのようにお考えでしょ
うか。

		賛成	反対	分から ない	総計
2-7. 今後、六ヶ 所再処理工場からの トリチウムなどの放 射性物質の海洋・大 気中放出について、 政府は福島汚染水 放出について開 かれてきたような、 審議会、公聴会など を開くべきだと思 いますか。	そう思う	51	36	37	124
	ややそう思う	17	2	24	43
	あまりそう思 わない	10	1	6	17
	そう思わない	1			1
	無回答	6	1	10	17

六ヶ所再処理工場の稼働に賛成していても、六ヶ所再処理工場からの放射性物質放出について審議会や公聴会の開催が必要だと考えている回答が大多数を占める

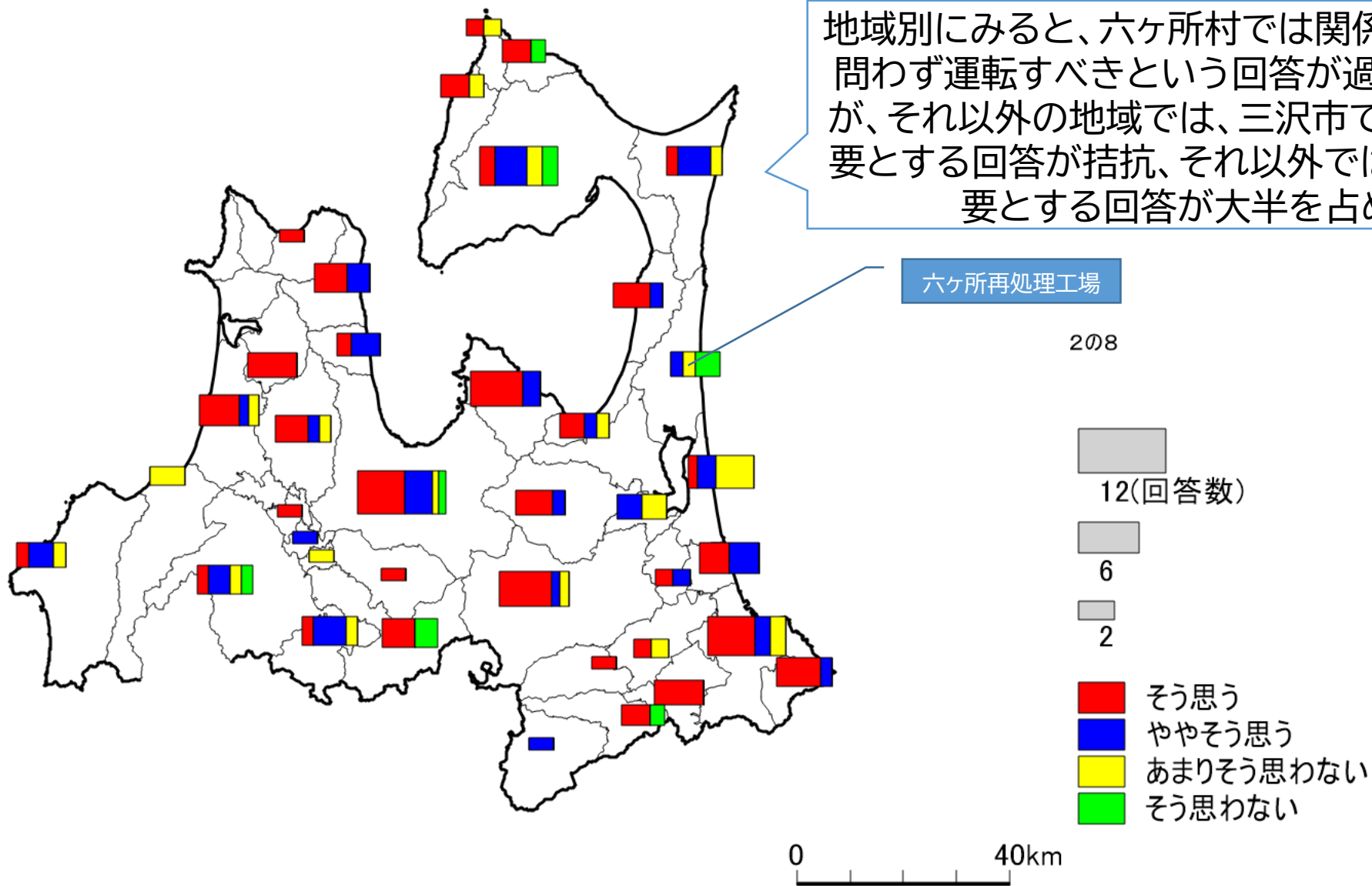
2-8. 放出に関係者の合意が得られるまで、六ヶ所再処理工場の運転をすべきでないと思いますか。

1	そう思う	95
2	ややそう思う	49
3	あまりそう思わない	30
4	そう思わない	11
	計	185



関係者の合意が得られるまで六ヶ所再処理工場の運転をすべきでないとの回答が、「そう思う」と「ややそう思おう」を合わせて78%

2-8. 放出に関係者の合意が得られるまで、六ヶ所再処理工場の運転をすべきでないと思いますか。



2-8. 放出に関係者の合意が得られるまで、六ヶ所再処理工場の運転をすべきでないと思いますか。

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
1 農業	17	10	2	1
2 林業	1	1	1	
3 水産業	8	11	4	
4 鉱業				
5 建設業		3	1	2
6 製造業			1	
7 電気・ガス・水道業				1
8 情報通信業	1		1	
9 運輸業郵便業	2		2	
10 卸売業、小売業	3	3	3	1
11 金融業、保険業	1			
12 不動産業				
13 飲食業				
14 宿泊業				
15 医療・福祉	3		1	
16 教育、学習支援業	1			
17 その他サービス業	14	5	1	1
18 公務	25	7	6	3
19 該当なし	14	8	5	2
不明	5	1	2	

六ヶ所再処理工場の稼働に賛成していても、六ヶ所再処理工場からの放射性物質放出について関係者の合意が得られるまで運転すべきではないと思っている方が多数を占める

1-3. 六ヶ所再処理工場の2021年度稼働という計画についてはどのようにお考えでしょうか。

		賛成	反対	分からない
2-8. 放出に関係者の合意が得られるまで、六ヶ所再処理工場の運転をすべきでないと思いますか。	そう思う	30	21	16
	ややそう思う	37	1	
	あまりそう思わない	26	26	13
	そう思わない	2	1	1
	無回答	30	21	16

比較的、六ヶ所再処理工場の放射性物質放出問題について知識のある層が関係者の合意が得られるまで六ヶ所再処理工場を運転すべきでないと考えている。

		2-2. 日本原燃の「管理目標」によれば、六ヶ所再処理工場の通常運転が開始されると、最大で、福島第一原発で貯蔵されている量の10倍のトリチウムを、毎年、海洋放出することになっています。このことをご存知ですか。			
		よく知っている	ある程度知っている	あまり知らない	知らない
2-8. 放出に関係者の合意が得られるまで、六ヶ所再処理工場の運転をすべきでないと思いますか。	そう思う	7	29	26	33
	ややそう思う		8	27	14
	あまりそう思わない	3	9	10	8
	そう思わない	3	5	1	2
	無回答	1	1	11	4

第一次産業(農林水産業)従事者の回答を抽出すると、

		2-2. 日本原燃の「管理目標」によれば、六ヶ所再処理工場の通常運転が開始されると、最大で、福島第一原発で貯蔵されている量の10倍のトリチウムを、毎年、海洋放出することになっています。このことをご存知ですか。			
		よく知っている	ある程度知っている	あまり知らない	知らない
2-8. 放出に関係者の合意が得られるまで、六ヶ所再処理工場の運転をすべきでないと思いますか。	そう思う	1	12	21	48
	ややそう思う		8	36	24
	あまりそう思わない	1	6	6	4
	そう思わない		2		
	無回答				4

(民間団体および企業、個人の方に伺います)
六ヶ所再処理工場の稼働が事業に与える影響についてお聞きします

3-1 売上

1	プラスの影響	18
2	変わらない	49
3	マイナスの影響	32
4	分からない	36
	計	135

3-2 事業の安定的継続

1	プラスの影響	19
2	変わらない	53
3	マイナスの影響	25
4	分からない	37
	計	134

事業に対しての影響はプラスの影響はあまり想定されておらず、変わらない、わからないが大半を占める。

3-3 マイナスの影響が出た場合に、国または日本原燃(株)に希望する対策（複数選択可）

1	稼働の再検討	43
2	影響への補償	78
3	説明会開催	54
4	風評対策	75
5	その他	3

影響が出た場合は風評対策・影響への補償を求める声が多い。

(自治体および議員の方に伺います)
六ヶ所再処理工場の稼働が地域に与える影響についてお聞きします

4-1 地域社会への影響

1	プラスの影響	31
2	変わらない	20
3	マイナスの影響	54
4	分からない	26
	計	131

4-2 地域経済への影響

1	プラスの影響	54
2	変わらない	20
3	マイナスの影響	37
4	分からない	29
	計	140

地域社会に対しての影響はマイナスの影響が意識されている。
一方で地域経済に対してはプラスの影響が意識されている。

4-3 マイナスの影響が出た場合に、国または日本原燃(株)に希望する対策（複数選択可）

1	稼働の再検討	49
2	影響への補償	92
3	説明会開催	61
4	風評対策	73
5	その他	4

影響が出た場合は風評対策・影響への補償を求める声が多い。

安全性に配慮して、安全対策工事を完工させ、早期に本格操業してほしい。

2016年に国が高速増殖炉もんじゅの廃炉を決定し、廃炉を進めているのに、六ヶ所再処理工場が本格稼働を計画していることは矛盾しており、国が進めてきたリサイクル計画は明らかに破綻しているため、再処理工場の計画も即刻中止して再生可能エネルギーに方針を転換すべきだと思う。

トリチウム放出に関する世界の現状と、福島・六ヶ所との比較グラフの提示。
・風評被害も含めた、漁業(農業)への補償の法制化。

想定外の災害が増加している中、また北朝鮮のミサイル対策も含め、安全でなければならない。(例:戦闘機が落ちても、ミサイルが直撃しても大丈夫ないようにすべき)

私の住むむつ市は使用済み核燃料中間貯蔵施設のある地域。核燃サイクル路線が行き詰まっている中、核燃料を受けいれると最終貯蔵になる可能性があると言っている。搬出先が特定できないことが語られるようになってきている。六ヶ所施設を回すことは危険、回しても使い道がない。まだまだ勉強不足だが、連帯の力で原発ストップを。

再処理工場はあくまで核燃料サイクル政策の一端であって、最終処分地および原発稼働の今後も踏まえて、意見集約する必要があると考える。再処理工場自体を問うのは少し違うような感じがする。

必要でないと思う

再処理工場が稼働したとしても、原子力発電まで繋がるか疑問である。現在まで多額の予算が使われており、今後も出費が伴うことから、もし継続するのであれば確実に繋がる方向で検討・審議をお願いしたい。

稼働を前提とするこのアンケートに答えたくもなかった。地域経済面で当初は有難がられるだろうが、長期的にみれば、住みたくない危険な地域と化すだろう。現に、終いの住処にしたくないし、子や孫は住まないことを願っている。本当に大丈夫なら、topの方々の終いの住処を六ヶ所にさせていただきたい。

福島第一原発で貯蔵中のトリチウムの濃度であれば他では放出しているという事を聞いたような、記事で見たような気がしているが、はっきりしない。世界中の原発の実状はどうなっているのか。

計画を中止すべきです。

国策に振り回されている六ヶ所、国は最終処分地にしないとの約束をキチンと守れるのか？地域差別を受けている地域と云っても良い

高レベル放射性廃棄物の最終処分地も遅々として見通しがたたず、このままいけば青森県に置き続けられかねません。再処理政策はすでに破綻しています。エネルギー政策の転換を求めます。

青森県は三沢軍事基地、大間原発、東通、車力、むつ等、危険な施設が集中、貧乏ゆえに金ほしさの自治体体質、歴代自民党政権のゴリ押しと経済界とのゆ着、哀しい実態である。いざ事故が起きたら、原発の比ではないと言われる。即刻止めなければならない。住民に広める。放出する内容、量の事前説明と同意をとるべき責任が事業者、県、国にある。安全協定の見直し(事前同意)を少なくとも30km圏内自治体へ拡大すべき。さらに防災5kmでよしとする説明と同意をとるべき責任あり。

福島原発の原燃事故に見られるように、いったん事故が起きたら地域全体が不毛の地になってしまう。原発関係事業について安全性を確立してほしい。

○地域経済に与える影響は大きい。原燃等に携わる仕事がある事。原燃交付金に頼る自治体。この地域では農林水産業中心、以外の基幹産業が乏しく雇用の場が少ないこと。

○原燃のみに頼ることなく風力、海洋、地熱等の産業の切り替えで雇用の場を継続していく政策転換を求める。危険と隣り合わせの事業は縮小し脱原発施策をすすめる。

○地域的にも米軍基地を抱えているため基地強化と核燃施設は危険地域そのものです。

大きな住民が安定する企業もなく産業もないこの地で生きて行くためには、ゴミ捨て場が必要である。しかたないことなのかもしれない。

核の高レベル廃棄物最終処分場が決定するまで稼働すべきでない。

地域経済とは六ヶ所周辺なのか？青森県や北海道、東北なども影響を受けるのでは？

基本的には稼働には積極的に賛成であるがもう少し理解を求める活動(反対するものもあると思うが)に市民目線を入れて欲しい。もっと簡単に

プルサーマルの技術が確立していない段階での再処理には多大な不安が残る。

これまでの過程においても諸々のトラブルが発生していますので、安全性を担保して頂きたいのと大地震の可能性も報じられている昨今なので、福島惨事を教訓にして安全性には重ね重ね留意していただきたい。

六ヶ所再処理工場の視察を会派で申し込みましたがことわられた。市議会議員として学ぶ機会を持っていないのは大変残念である。会社側の再考を求める。

風評対策等の対応をきちんとしてほしい

近々現場を見に行き、地元の方々にも伝えたいし地元の方々にもこのようなアンケートをしてもらいたい。

国が言っている核サイクルの計画の中でプルトニウムの活用の核施設、大間のもんじゅ型の化学的安全性がわからない状態での稼働は問題である。又核の最終処分場などの建設のメドが立たない事も問題である。原子力政策に国が前面に出ない事は大きな問題である。国策としてすすめるのであれば、研究機関も含め国が責任を取る形でやるべきである。

トリチウムが環境や人体にどういう影響があるかしっかり説明して頂きたい。当然影響が無い範囲の放出となっていると思うが放出量が2倍、10倍…となった場合に想定される影響も公表するべきと思う。その上で尚再処理の必要性もしっかり訴えていくべきと思う。

電力の消費は今後も増加する方向と思いますが、電力を生み出す資源は原子力に限らず、自然エネルギーを含めて可能性が大了。それらの方向にもっと積極的に推進すべきではないでしょうか

安全安定操業を望む

安全、安心でがんばってください。

猛毒のように云われているトリチウムだが一般人は知っているのか。そんなにこわいものならば最初からこんな事業は計画しないと思うし、地球温暖化が進んでいる中安全ならば事業を進めてほしい。

最初から悪いものと決めつけしないでしっかり管理し安全を保てば良いと思うが住民にはすべて説明してほしい。都合の悪い事を隠すからいけないのです。

現在、原燃が稼働していない状況の中、火力発電は火力発電は環境破壊に繋がることなどから、原燃を稼働し、さらには、再処理工場の稼働を目指していることはナンセンスであり、廃棄物を対処できないことから、原発は反対である。したがって、最終の廃棄物をどうするか、福島原発の原燃廃炉もできない原発は人類にとって必要不可欠なものではないと思う。そんな膨大な予算をつぎ込むことに疑問に思う。クリーンエネルギーに転換してはどうか。

核のゴミの処分、燃料サイクル等の先行きが見えない中、稼働することの意味が判らない

再処理工場はいらない。プルトニウムもいらないの声を大きくしていきたい。

当初のプルサーマル計画の一面である高速増殖炉の開発がとん挫していることが気がかりである。ウランを燃料とする軽水炉で再処理燃料を燃やすこ技術的な課題はクリアしているのか

回答の集計後公表はありますか、稼働前に近隣市町村に対しての説明会の開催予定等が知りたい。

不幸にも核廃棄物の最終処分地が決まらないうちに六ヶ所村、青森県民は再処理工場の受入する首長を選びました。ガラス固化も進まず、廃液のまま保管されている現状、サイクルシステムの崩壊している現状を踏まえた将来の在り方を検討すべきです。自治体は補助金に踊らされ、未来を見据えていないと感じています。国民の皆さんには今一度原子力発電を利用した場合の諸課題を整理し考えさせる手法が必要だと考えます。

2050年対応として原子力抜きには進まない。